# 研　究　成　果　報　告　書

2026　年　4　月　6　日

**１．所属・職・氏名　等**

教養学部比較文化学科・教授・山本芳美

**２．研究課題（テーマ）名**

研究課題名「元東映・刺青絵師毛利清二氏ならびに俳優・品川隆二氏ほか、東映関係者への聞き書きと国内外での学術交流による共創」

**３．研究期間**

2024 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

**４．利用した研究費の種類及び金額**

重点領域研究費・1,507,657 円

**５．研究の概要**

令和 6 年度

4 月に品川隆二氏への山梨在住時代に関するインタビューを実施した。さらに、4 月はじめに、株式会社東映京都スタジオ元社長の山口記弘と打ち合わせを実施した。5 月から 7 月までは京都のおもちゃ映画ミュージアムにおいて「毛利清二の世界：映画とテレビドラマを彩る刺青」展を実施し、280 名以上の来場者（入場費負担者）を集めた。また、8 月 2 日にミュージアム都留に訪問し、品川隆二氏特集展示の形態や内容について検討した。そして、東映太秦映画村・映画図書室の学芸員である原田麻衣氏に依頼し、同図書室に収蔵されている品川隆二氏関連資料リストを作成してもらった。11 月末にリストが完成し、70 周年記念行事として展示を実施できるよう調整した。9 月には、フランス・カルカッソンヌ美術館で来年度 6 月から開催予定の「和彫りの芸術」展の協力を前提として、Xavier Durand 氏と映画図書室において打ち合わせを実施した。

令和 7 年度

5 月 18 日に刊行記念イベントを、毛利清二氏を迎えておもちゃ映画ミュージアムにて開催した。次いで、6 月 7 日と 8 日に筑波大学で開催された日本文化人類学会第 59 研究大会にて今年度研究の打ち合わせを実施した。また、6 月から 8 月まで、カルカッソンヌ美術館で開催された「L'art du tatouage au Japon」（和彫りの美）にて、毛利清二氏の下絵が 3 点展示された。 参照：原田麻衣［コラム］展覧会報告《日本のいれずみ芸術》@フランス・カルカソンヌ https://www.toei-eigamura-library.com/3897/ （2025 年 11 月 14 日記事）

イギリス・ロンドンの出版エージェントより、『日本の刺青の歴史と文化』に関する書籍出版企画がもちかけられたこともあり出張して、フランスの展示を見学した。9 月 12 日午後にロンドンから発つまで、大英図書館で資料を探したほか、Bishopsgate Institute のある The Rudi Inhelder Collection というタトゥー関連の資料を確認した。また、Wellcome Collection やグリニッジにある国立海事博物館などを見学し、日本のイレズミ関係の資料を確認した。

ロンドン滞在では、タトゥーを研究している Matt Lodder さんと Jamie Cotes さんと来年度の科研費を中心とした研究助成申請についてと、イギリスの出版エージェントと企画に関する打ち合わせをおこなった。

また、研究期間中には初代岐阜彫秀氏自宅を 2 回訪問し、毛利清二氏におこなった情報提供やアメリカを中心とし彫師たちとの交流により、日本の刺青が多色化した過程についてインタビューを実施した。

６．研究成果等

東映太秦映画村・映画図書室の協力により、都留市出身の俳優である品川隆二氏の資料をリスト化した。そのリストで把握できたスチール写真 4 点を使用し、全体の 8 割を都留市民から提供された資料や写真でミュージアム都留の学芸員が構成した「山梨の生活史と俳優・品川隆二」展を 12 月 6 日から翌年 2 月 1 日まで開催した。内容としても、令和 5 年から 6 年にかけて重点領域研究費によって令和 7 年の比較文化学科の新設科目「山梨の生活史」に向けて実施した品川隆二氏へのインタビュー（令和６年４月１日に東映京都撮影所において実施）も組み込んだ展示と市民講座となった。本学７０周年記念展である「地域の中の大学」展と同時開催となり、大学における研究活動の還元としても大きな取り組みとなった。

毛利清二氏は、第 49 回日本アカデミー賞特別賞にて会長功労賞を授賞した。令和 8 年 3 月 13 日の授賞式にも出席し、元気に授賞コメントも述べられた。本研究費に基づく活動の大きな成果といえる。

７．研究の実績（論文・発表　等）

〇毛利清二氏へのインタビューは、令和 7 年 3 月 25 日に原田麻衣氏との共著として『刺青絵師 毛利清二：刺青部屋から覗いた日本映画秘史』（青土社）より刊行された。
書籍の書評は、『週刊新潮』『西日本新聞』『読書人』『図書新聞』の各誌に掲載された。

〇「刺青を描く仕事」『文藝春秋』2025 年 11 月号・文春オンライン
https://bunshun.jp/articles/-/85455
（山根基世さんの「声で読む文藝春秋」でも有料配信・文藝春秋 PLUS
https://bunshun.jp/bungeishunju/articles/h10996）